

令和6年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

(1) 名称 東京都立総合芸術高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）

(2) 事務局 主任教諭（総務部主任）＝事務局長、経営企画室長 計2名

(3) 内部委員

校長、副校長、経営企画室長、主任教諭（教務部）、主任教諭（総務部）、主任教諭（進路指導部）

主幹教諭（美術科）、主任教諭（舞台表現科）、主幹教諭（音楽科）、主任教諭（生活指導部）

計10名

(4) 協議委員の構成

東京芸術劇場 副館長 鈴木 順子 氏

学識経験者 美術（退職校長 佐藤 清親 氏）

学識経験者 音楽（退職校長 鈴木 留美子 氏）

近隣中学校長（新宿区立新宿中学校長 片倉 元次 氏）

地域住民（東京都民生委員、児童委員 御所窪 和子 氏）

近隣警察署（牛込警察署 生活安全課 松原 正樹 氏）

保護者（3年次保護者 和田 智世 氏） 計7名

2 令和6年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和6年6月21日（金） 内部委員10名、協議委員5名

・学校経営計画、昨年度の学校経営報告

第2回 令和5年11月15日（金） 内部委員10名、協議委員6名

・これまでの教育活動に関する中間報告

・協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議

第3回 令和7年2月7日（金） 内部委員10名、協議委員6名

・これまでの教育活動に関する報告

・協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の結果報告及び学校運営に対する提言、協議

(2) 評価委員会の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和6年11月15日（金） 委員4名

・アンケートの内容確認、ほか

第2回 令和7年2月7日（金） 委員4名

・アンケート集約結果の分析、考察、課題の整理、協議、次年度へ向けて

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

（１）学校評価の観点

「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。

（２）アンケート調査の実施時期・対象・規模

- ・ 1 2 月 全生徒 対象：本校在籍生徒 4 6 3 人
- ・ 1 2 月 保護者 対象：本校在籍生徒保護者 4 6 3 人
- ・ 1 2 月 地域・住民 対象： 5 0 人
- ・ 1 2 月 教職員 対象： 4 7 人

（３）主な評価項目

- ・ 学校生活満足度、学習指導、生活指導、進路指導、学校行事、生徒会活動、施設・設備など

（４）評価結果の概要と分析、考察

- ・ 学校評価アンケートの回答は、専門教科の指導に対する生徒の肯定的な回答が 9 8 % を占めていた。
- ・ 保護者・生徒・教職員ともに、普通教科については他の質問項目よりも満足度が低く、例年の課題となっているが、今年度は 4 6 % に上昇し（R5 年度 2 4 %、R5 年度 2 2 %）、改善の傾向がみられた。
- ・ web アンケートはいつでもできるという安心感からアンケートの回答忘れが多数見られた。web アンケート実施について、生徒へはホームルーム担任からの指導だけでなく、Microsoft teams による連絡の徹底がより求められる。保護者への連絡は Classi を活用した調査や連絡の徹底が必要と感じている。
- ・ 依然として、三学科が交流して取り組む授業や行事を増やしてほしいという要望が強い。
- ・ 地域からは、本校に対して避難場所としての要望が強い。学校の教育活動がわからないとの声が多く引き続き情報発信に力を入れていく。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

（１）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・ 本校は都立で唯一の芸術に特化した学校として開校し、1 5 年目である。美術科、舞台表現科、音楽科それぞれが展覧会や発表会、公演等を実施してきた。対外的にも高い評価を得ている。
- ・ 各科の専門的な指導には生徒のモチベーションも高く、保護者の要求水準も高い。
- ・ 進学の実績も多岐にわたるとともに、生徒が各々の専攻を生かした進路を目指している。
- ・ 音楽科は様々な発表の場を開拓し、生徒の力量向上に大きな影響を与えた。

（２）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・ 3 科の交流の実現。舞台や音楽の発表を学校全体で観るなど、内輪の発表を見せることが各々の生徒の励みになる。

- ・専門教科だけでなく、普通教科の学習を充実させていくための取組を引続き検討していく。
- ・学校評価アンケートは回答者数、回答率を入れるべき。グラフを数年度にわたって載せ経年変化を見ていく必要がある。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

（１）学校運営

生徒の学校評価から、学校生活の肯定的評価を高められるような取組を目指す。

（２）学習指導

中期的目標及び次年度の取組目標として、普通教科の学力向上対策を明記して取り組む。

（３）特別活動

中期的目標に、他の芸術分野の理解と他科の生徒と協働できる取組を明記して取り組む。

（４）生活指導

中期的目標及び次年度の取組目標に、マナーや規範意識の向上、時間厳守、礼儀作法や身だしなみに留意させていく。

（５）進路指導

今年度の進路決定率を維持し、さらなる向上を図る。

（６）健康・安全

- ・基本的な生活習慣の確立とその定着を図り、遅刻者を減少させる。
- ・生徒の健康や安全管理に配慮し、いじめや自殺防止のための取組を推進する。また SNS 等の安全な利用について指導する。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

（１）協議委員人数 7人

（２）学校が良くなったと答えた協議委員の人数 4名

そう思う	多少そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	分からない	無回答
4		1				2

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

1, 2回目と授業公開後、学校運営連絡協議会を実施したため、授業内の活動を見た上での意見交換が可能となった。次年度も継続していく。各学科の高い教育レベルを外部にアピールできるよう引き続き積極的な情報発信に取り組んでいく。学校経営計画「〇都民から信頼される学校づくり」に「美術科、舞台表現科、音楽科が一致協力して」という文言があり、アンケートの結果からも3科が連携できるよう、行事等を活用し交流を図る必要性が明らかになった。